

秋田県立大学大学院 生物資源科学研究科
博士前期課程

学 生 募 集 要 項

令和2年4月入学者選抜（元年8月実施試験・2年2月実施試験）

令和元年10月入学者選抜（元年8月実施試験）

令和元年6月

生物資源科学研究科 博士前期課程

◎ 入学定員・募集人員

(令和2年4月入学者選抜)

入学定員及び 募集人員 専攻名	入学 定員	元年7月実施試験	元年8月実施試験	2年2月実施試験
		推薦特別選抜	一般選抜 社会人特別選抜 外国人・帰国子女特別選抜	一般選抜 社会人特別選抜 外国人・帰国子女特別選抜 学部3次学生を対象とする特別選抜
生物資源科学専攻	28	28名程度		若干名

※推薦特別選抜の詳細は、別途公表している推薦特別選抜の募集要項をご覧ください。

(令和元年10月入学者選抜)

募集人員 専攻名	元年8月実施試験
	一般選抜 社会人特別選抜 外国人・帰国子女特別選抜
生物資源科学専攻	若干名

◎ 入学試験関係日程

(令和2年4月入学者選抜)

【元年7月実施試験】

入学資格審査申請期間	令和元年5月13日(月)～5月17日(金)	受付時間：土・日を除く各日の 午前9時～午後5時
出願期間	令和元年6月3日(月)～6月7日(金)	
試験期日	令和元年7月6日(土)	
合格者発表	令和元年7月11日(木)	
入学手続	令和元年7月23日(火)及び7月24日(水) 受付時間：午前9時～午後5時	

【元年8月実施試験】

入学資格審査申請期間	令和元年6月24日(月)～6月28日(金)	受付時間：土・日を除く各日の 午前9時～午後5時
出願期間	令和元年7月26日(金)～8月1日(木)	
試験期日	令和元年8月23日(金)	
合格者発表	令和元年8月29日(木)午後1時予定	
入学手続	令和元年9月10日(火)及び9月11日(水) 受付時間：午前9時～午後5時	

【2年2月実施試験】

入学資格審査申請期間	令和元年12月2日(月)～12月6日(金)	受付時間：土・日を除く各日の 午前9時～午後5時
出願期間	令和2年1月30日(木)～2月5日(水)	
試験期日	令和2年2月28日(金)	
合格者発表	令和2年3月6日(金)午後1時予定	
入学手続	令和2年3月13日(金)及び3月14日(土) 受付時間：午前9時～午後5時	

(令和元年10月入学者選抜)

【元年8月実施試験】

入学資格審査申請期間	令和元年6月24日(月)～6月28日(金)	受付時間：土・日を除く各日の 午前9時～午後5時
出願期間	令和元年7月26日(金)～8月1日(木)	
試験期日	令和元年8月23日(金)	
合格者発表	令和元年8月29日(木)午後1時予定	
入学手続	令和元年9月10日(火)及び9月11日(水) 受付時間：午前9時～午後5時	

目 次

※ 令和2年4月入学者選抜（元年8月実施、2年2月実施）試験を志願する方はⅡを、令和元年10月入学者選抜（元年8月実施）試験を志願する方はⅢをご覧ください。

I 生物資源科学研究科について

(1) アドミッション・ポリシー	1
(2) カリキュラム・ポリシー	1
(3) ディプロマ・ポリシー	1

II 令和2年4月入学者選抜

（一般選抜、社会人特別選抜、外国人・帰国子女特別選抜、学部3年次学生を対象とする特別選抜）

1 募集する専攻及び募集人員	2
2 出願資格	2
3 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について	4
4 出願期間及び出願方法等	5
5 選抜方法等	9
6 合格者発表	14
7 入学手続、初年度納付金等	14

III 令和元年10月入学者選抜

（一般選抜、社会人特別選抜、外国人・帰国子女特別選抜）

1 募集する専攻及び募集人員	17
2 出願資格	17
3 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について	18
4 出願期間及び出願方法等	18
5 選抜方法等	22
6 合格者発表	26
7 入学手続、初年度納付金等	26

IV 共通事項

1 入学試験成績の開示	28
2 個人情報の取扱いについて	28

【キャンパス案内図】	29
------------	----

【出願書類の記入例及び記入上の注意】	31
--------------------	----

◎生物資源科学研究科の案内	33
---------------	----

I 生物資源科学研究科について

(1) アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

博士前期課程

学部教育の基礎に立って、さらに高度で先端的な厚みと広がりを持つことにより発展的な未来を切り開く高度専門職業人を目指す人材を受け入れます。

上記に加え、次のような資質を持つ人を求めています。

生物資源科学専攻

生物資源科学に関するより高度な専門性を身に付け、それを取り巻く社会的背景への幅広い視野やものの見方・考え方や実地調査や機器分析における技術と手法を兼ね備えて、これらを企業や公務等において効率よく運用できるマネジメント能力をあわせ持って活躍することを旨とする人

(2) カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

博士前期課程

高度専門職業人として必要な基礎的な知識・技術から文化、倫理まで幅広い内容を学際的に学べる授業科目と、教員の専門性を活かした講義・実習科目を開講します。

専攻では、次のような人材育成のための特色ある科目を開講します。

生物資源科学専攻

生物資源科学に関連する幅広い分野の専門性と視野、実践的な問題解決やマネジメントの能力を身に付けるため、オムニバス形式の講義科目や実験実習科目、テクニカルスキル科目を設けます。また、修士学位論文研究の成果を学会発表させ、少なくとも1報以上を主著者として口頭またはポスター発表できるよう指導する教員体制を設けます。

(3) ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

博士前期課程

高度専門職業人として、学部教育の基礎に立って研究開発能力を育み、生物資源科学に関わる知識と思索力に、更に高度で先端的な厚みと広がりを持たせることにより、発展的な未来を切り開く能力を身に付け、修了に必要な単位を修得した学生に学位を授与します。

専攻を通じ、修得すべき能力は以下のとおりです。

生物資源科学専攻

- ①生物資源科学に関するより専門的な知識や実地調査や機器分析における技術と手法を兼ね備え、実社会で活躍できる能力
- ②生物資源を取り巻く社会的背景への幅広い視野やものの見方・考え方を身に付け、実社会で役立つマネジメント能力

Ⅱ 令和2年4月入学者選抜

一 般 選 抜
社 会 人 特 別 選 抜
外国人・帰国子女特別選抜
学部3年次学生を対象とする特別選抜*

* 2月実施試験のみ

水色の出願書類を使用して出願してください。

1 募集する専攻及び募集人員

入学定員及び 募集人員 専攻名	入学 定員	元年 7 月実施試験	元年 8 月実施試験	2 年 2 月実施試験
		推薦特別選抜	一般選抜 社会人特別選抜 外国人・帰国子女特別選抜	一般選抜 社会人特別選抜 外国人・帰国子女特別選抜 学部3年次学生を対象とする特別選抜
生物資源科学専攻	28	28名程度		若干名

「学部3年次学生を対象とする特別選抜」は、意欲あふれる優秀な学部学生に対して早期に大学院教育を受ける機会を提供するために実施するものです。

本特別選抜では、特に博士後期課程までを視野に入れ高度技術研究者を目指す、きわめて優秀な学生を選抜することを目標としています。

なお、「学部3年次学生を対象とする特別選抜」によって本研究科博士前期課程に入学した者の学部学生としての学籍上の身分は、早期卒業を認める大学を除き、本学等ほとんどの大学では退学になります。したがって、各種国家試験等の受験資格で大学の学部卒業が要件になっているものについては、受験資格がないことになるので十分留意してください。

2 出願資格

(1) 出願資格

【一般選抜】

以下の出願資格①～⑦及び⑬のいずれかに該当する者が出願できます。

【社会人特別選抜】

2年以上の社会的経験を有する者で、以下の出願資格①～⑦及び⑬のいずれかに該当する者が出願できます。なお、この選抜区分については、次の期間に志望指導教員まで問い合わせてください（受付時間：土・日を除く午前9時～午後5時）。

元年 8 月実施試験	令和元年 6 月 24 日（月）～ 6 月 28 日（金）
2 年 2 月実施試験	令和元年 12 月 2 日（月）～ 12 月 6 日（金）

【外国人・帰国子女特別選抜】

外国人留学生及び外国の大学において学校教育を受けた者で、以下の出願資格①～⑦及び⑬のいずれかに該当する者が出願できます。

【学部3年次学生を対象とする特別選抜】

以下の出願資格⑧～⑪かつ⑫に該当する者は出願できます。

- ① 大学を卒業した者及び令和2年3月までに卒業見込みの者
- ② 独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び令和2年3月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者

- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者〔旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校を卒業した者等〕
- ⑧ 令和2年3月末日に、大学の在学期間が3年（休学期間を除く）以上となる者で、学部における所定単位（注1）を各学科の最上位の成績で修めた者のうち、入学資格審査による認定を受けた者（注2）
- ⑨ 令和2年3月末日に、外国において学校教育における15年の課程を修了する見込みの者で、学部における所定単位（注1）を最上位の成績で修めた者のうち、入学資格審査による認定を受けた者（注2）
- ⑩ 令和2年3月末日に、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了する見込みの者で、学部における所定単位を最上位の成績で修めた者のうち、入学資格審査による認定を受けた者（注2）
- ⑪ 令和2年3月末日に、我が国において外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされる者に限る）を有する者として当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了する見込みの者で、学部における所定単位を最上位の成績で修めた者のうち、入学資格審査による認定を受けた者（注2）
- ⑫ ⑧～⑪に該当し大学院に入学した者であって、本大学院が大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者（注2）
- ⑬ その他大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、令和2年4月1日までに22歳に達するもの

（注1）「学部における所定単位」とは、当該大学の卒業に必要な最低修得単位数から4年次以降において修得することとされている科目の単位を除いた単位をいいます。

（注2）令和2年3月に大学卒業見込みの者は出願できません。出願資格について不明な場合には、教育本部（秋田キャンパス）アドミッションチームにお問い合わせください。

(2) 入学資格審査

- ① 出願資格⑧～⑬により出願を希望する者については、入学資格審査を行います。入学資格審査を受けるにあたっては、次の期間内に申請が必要となりますので、下記ii)の各書類を後記「出願先」まで提出してください。（郵送の場合は、入学資格審査申請期間最終日の午後5時必着とします。持参の場合の受付時間は午前9時から午後5時までとします。）

注意）封筒には「入学資格審査申請書在中」と朱書きしてください。

i) 入学資格審査申請期間

元年8月実施試験	令和元年6月24日(月)～6月28日(金)
2年2月実施試験	令和元年12月2日(月)～12月6日(金)

ii) 入学資格審査に必要な書類

書類名	摘要	出願資格	
		⑧～⑫に該当する者	⑬に該当する者
入学資格審査申請書	様式は本学のホームページからダウンロードし、必要事項を記入してください。	○	○
推薦書	様式は本学のホームページからダウンロードし、在籍している大学の学部長等が記入したものを、厳封し提出してください。	○	—
在学証明書	在学している大学の学長等が作成し、厳封したものを提出してください。	○*	—
成績証明書	在籍している大学の学長等が作成し、厳封したものを提出してください。	○	—
在籍大学学部・学科の履修要覧等	写しも可です。	○*	—
履歴書	様式は任意です。	—	○
研究業績書	様式は任意とし、論文要旨、論文発表業績または研究業績のいずれかを提出してください。	—	○
返送用封筒(入学資格審査結果送付用)	長形3号の封筒に、郵便番号、住所及び氏名を明記し、82円分の切手を貼付してください。	○	○

※ 本学生物資源科学部在籍者は提出不要です。

② 入学資格審査の結果は、次の期日までに本人あてに通知します。

元年8月実施試験	令和元年7月19日(金)
2年2月実施試験	令和2年1月23日(木)

3 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について

本大学院に入学を志願する者で、障害(学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度)や疾病・負傷等により、受験上及び修学上において特別の配慮を希望する場合は、後記「出願先」まで、できるだけ早く事前相談を行うようにしてください。相談を受けて、志願者の普段の様子をよく知る者に連絡をとることもあります。また、希望する配慮を必ずしも実施できるとは限りません。期限は次の期日までとします。

また、下記期限後に不慮の事故等により、受験上及び修学上の配慮が必要となった場合には、速やかに連絡してください。

元年8月実施試験	令和元年6月28日(金)
2年2月実施試験	令和元年12月6日(金)

4 出願期間及び出願方法等

(1) 出願期間

元年8月実施試験	令和元年7月26日(金)～8月1日(木)
2年2月実施試験	令和2年1月30日(木)～2月5日(水)

(2) 出願方法

- ① 出願は同封の出願用紙及び封筒を用い、「書留速達による郵送」又は「持参」により行ってください。
- ② 郵送の場合は、出願期間最終日の午後5時必着とします。持参の場合の受付時間は午前9時から午後5時までとし、土曜日、日曜日の受付は行いません。
- ③ 指導教員等が変更になる場合がありますので、出願者は、出願前のなるべく早い時期に必ず志望指導教員と連絡をとってください。なお、外国人・帰国子女特別選抜の出願者の連絡記録は、提出書類の一つとなります。

(3) 入学検定料

30,000円

(4) 出願先

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438
秋田県立大学 アドミッションチーム (秋田キャンパス)
TEL 018-872-1535 FAX 018-872-1670

(5) 出願書類

出願書類（元年8月実施試験、2年2月実施試験共通）は本学所定のものを使用し、各選抜区分欄に、○印を付した書類を原則としてすべて提出してください。△印を付した書類は該当者のみ提出してください。「－」を付した書類は提出不要です。

書類名	摘要	選抜区分			
		一般選抜	社会人特別選抜	外国人・帰国子女特別選抜	学部3年次学生を対象とする特別選抜
A票 入学志願票	① 「提出書類の記入例及び記入上の注意（31ページ）」及び「生物資源科学研究科の案内（33ページ～）」を参照の上、必要事項を漏れなく記入してください。 ② 選抜区分、第1志望グループ及び第1志望指導教員は必ず記入してください。なお、第2志望まで記入できます。	○	○	○	○
B票 受験票	① 「出願書類の記入例及び記入上の注意（32ページ）」を参照の上、必要事項を漏れなく記入してください。	○	○	○	○
C票 写真票	② 縦4cm×横3cmの写真（正面上半身、無帽、背景なしで出願前3か月以内に撮影したもの）を貼付してください。	○	○	○	○
D票 住所票	① A票（入学志願票）の連絡先と同じ住所を記入してください。 ② 入学手続等の連絡を行うために使用します。	○	○	○	○
E票 入学検定料振込用紙	入学検定料は、次の期間に振り込んでください。 【元年8月実施試験】 令和元年7月19日（金）～8月1日（木）〔15：00まで〕 【2年2月実施試験】 令和2年1月23日（木）～2月5日（水）〔15：00まで〕 ① 必要事項を記入し、金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行を除く）の窓口で、入学検定料30,000円を振り込んでください。 ATMでの振り込みはできません。 なお、振込手数料は志願者本人の負担になります。 ② 振り込み後、収納印を受けたE-3票（検定料振込証明書）をA票（入学志願票）の所定の欄に貼付してください。	○	○	○	○
F票 志望理由書	800字程度で志望理由を記入してください。	○	○	○	○
G票 受験票送付用封筒	「受験票」を送付するための返信用封筒です。封筒に郵便番号、住所、氏名を明記し、速達郵送分の切手を貼付してください。	○	○	○	○
H票 出願用封筒	出願書類を入れて、「書留速達による郵送」又は「持参」により提出してください。	○	○	○	○

書類名	摘要	選抜区分			
		一般選抜	社会人特別選抜	外国人・帰国子女特別選抜	学部3年次学生を対象とする特別選抜
I票 業績レポート	一般選抜、外国人・帰国子女特別選抜に出願する者で出願資格⑧に該当するもの、又は社会人特別選抜に出願する者は本大学院所定の用紙に業績を記入してください。	△	○	△	—
卒業(見込)証明書 又は学位授与 (申請受理)証明書	① 出身大学の学長等、又は大学評価・学位授与機構が発行する証明書を提出してください。 ② 大学評価・学位授与機構に学位授与申請中の場合は、同機構が交付する学位授与申請受理証明書を提出してください。	○ *1	○	○	—
成績証明書	出身大学の学長等が発行する成績証明書を厳封して提出してください。	○	○	○	—
住民票の写し 又は、パスポートの写し	日本に住所を有する外国籍の者は、住民票の写し(出願前3か月以内に発行したもの)を提出してください。受験のために来日する外国籍の者は、パスポートの写しを提出してください。	△	△	△	△
受験承諾書	企業等に在籍のまま本大学院への入学を希望する者は、企業等の所属長が作成した受験承諾書を提出してください(様式は任意とします)。	△	△	△	—
受験許可書	他の大学院に在学中の者は、当該大学院が発行した受験許可書を提出してください(様式は任意とします)。	△	△	△	—
志望指導教員との 連絡記録	志望指導教員と連絡をとった際の連絡記録(手紙、Eメール等の写し)を提出してください。	—	—	○	—
卒業研究、研究業績 の要旨 ※2年2月実施試験のみ	卒業研究、研究業績又はこれらに準ずるものの要旨を提出してください(様式は任意とします。1,000字程度でまとめてください)。	○	○	○	—
安全保障輸出管理 に関する誓約書	外国籍の方、または、日本国籍を有するが非居住者に該当する方は、本学ホームページに掲載の「安全保障輸出管理に関する誓約書」の内容を確認のうえ、必要事項を記入・押印、またはサインをし、提出してください。 URL https://www.akita-pu.ac.jp/nyushi/joho/joho-daigakuin/	△	△	△	△
その他本学が 指定する書類	入学資格審査の結果、必要と認められる書類について連絡があった場合に提出してください。	△	△	△	△

【注】各種証明書等の中で提出が困難な書類の取扱いについては、出願までに前記「出願先」までお問い合わせください。

*1 出願資格⑧～⑬に該当する者は提出不要です。

(6) 出願上の注意事項

- ① 出願にあたっては、「生物資源科学研究科の案内（33ページ～）」を参照の上、必ず志望指導教員に問い合わせてください。問い合わせの際は、前記「出願先」に連絡してください。
- ② 出願書類に、次のような不備のあるものは受理しないことがあるので、十分確認してください。
 - ア 出願書類がそろっていないもの
 - イ 記入漏れ、誤記のあるもの
- ③ 出願書類の記入にあたっては、「出願書類の記入例及び記入上の注意（31ページ～）」を参照してください。
- ④ 出願受付後の出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所及び電話番号に変更があった場合は、前記「出願先」まで連絡してください。
- ⑤ 受験票は、出願期間終了後に本人あてに送付します。次の期日までに受験票が届かない場合は、前記「出願先」までお問い合わせください。

元年8月実施試験	令和元年8月9日(金)
2年2月実施試験	令和2年2月13日(木)

- ⑥ 外国から本大学院受験のために来日する者は、日本国への入国に必要な書類の発給に時間を要する場合がありますので、発給元に所要時間、必要書類を確認するなど受験に間に合うように十分注意してください。
- ⑦ 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「秋田県立大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生等の受け入れに際し厳格な審査を行っています。規制事項に該当する場合は、希望する教育や研究が受けられない場合がありますので、注意してください。
- ⑧ 一度受理した出願書類は返還しません。

(7) 入学検定料の返還請求について

既納の入学検定料は、次の場合に限り返還します。

返 還 事 由	返 還 額※
(ア) 入学検定料を振り込んだが、出願しなかった場合	30,000円
(イ) 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合	30,000円

※実際の返還額は、振込手数料を差し引いた額となります。

返還を希望する方は「入学検定料返還請求書」を本学ホームページからダウンロードし、必要事項を記入の上、払込済みの検定料振込証明書を同封して次の送付先へ請求してください。

送 付 先：〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

送付期限：令和2年2月28日(金)

注意) 封筒には「入学検定料返還請求書在中」と朱書きしてください。

5 選抜方法等

(1) 試験期日

元年8月実施試験	令和元年8月23日(金)
2年2月実施試験	令和2年2月28日(金)

(2) 選抜方法

〔元年8月実施試験〕

- ① 選抜区分毎の選抜方法は次のとおりです。

選 抜 区 分	選 抜 方 法
一 般 選 抜	学力検査、書類審査・面接を総合して判定します。
社 会 人 特 別 選 抜	書類審査、面接で判定します。
外国人・帰国子女特別選抜	

- ② 学力検査の出題科目等は、別表1及び別表2を参照してください。

別表1 学力検査科目一覧表

区分		生物資源科学専攻
一般選抜	英語	英文読解
	専門科目	別表2に示す研究グループが出題する1科目

別表2 専門科目等一覧表

第1志望指導教員と対応する科目を1科目選択する。

講座	研究グループ	専門科目	指導教員	
応用生物学講座	微生物機能	微生物学	教授 福島 淳	
		生物化学	准教授 春日 和	
		細胞工学	准教授 村口 元	
	分子細胞機能	分子細胞生物学		教授 岡野 桂樹**
				教授 村田 純
				教授 穂坂 正博
				教授 小林 正之
	植物機能科学	生物有機化学		教授 吉澤 結子***
				准教授 水野 幸一
				准教授 王 敬銘
				准教授 常盤野哲生
				准教授 尾崎 紀昭
	食品醸造	食品科学		教授 陳 介余
				准教授 張 茵
		醸造学		准教授 石川 匡子
			醸造学（出芽酵母関連問題）	教授 橋爪 克己**
	生物生産科学講座	植物生産基礎	植物栄養・肥科学	教授 服部 浩之**
			植物生態・生理学	教授 渡邊 肇
			植物病理学	教授 小川 敦史
			植物栄養学	教授 藤 晋一
植物遺伝・育種		植物分子遺伝学		准教授 頼 泰樹
				教授 赤木 宏守
				准教授 櫻井 健二
				准教授 上田 健治
植物生理		植物生理学		准教授 渡辺 明夫
				教授 鈴木 英治
分子シグナル制御		生物活性物質化学		教授 藤田 直子
				教授 田母神 繁
植物資源創成システム		植物発生遺伝学		准教授 阿部 誠
			生物環境調節学	准教授 佐藤奈美子
		植物工学		准教授 小峰 正史
			准教授 原 光二郎	

*は休職中を示す。

**は、令和3年3月退職を示す。

講座	研究グループ	専門科目	指導教員
生物環境科学講座	陸域生物圏	気象学	准教授 井上 誠
		水圏環境学	准教授 木口 倫
		土壌環境学	准教授 佐藤 孝
		森林科学	教授 蒔田 明史
			教授 星崎 和彦
	環境管理修復	自然生態管理学	教授 高橋 正
			准教授 石川 祐一
		准教授 早川 敦	
	地域計画	環境生態工学	教授 宮田 直幸
			教授 長濱健一郎
		地域資源経済学	准教授 中村 勝則
	准教授 渡部 岳陽		
	基礎生命科学	環境社会学	教授 谷口 吉光
			統計学
アグリビジネス学講座	アグリテクノロジー	作物生産・雑草学	教授 露崎 浩
			准教授 永澤 信洋
		園芸生産利用学	教授 吉田 康德
			准教授 神田 啓臣
			准教授 北本 尚子
	家畜生産学	准教授 横尾 正樹	
	ルーラルエンジニアリング	地域環境工学	教授 増本 隆夫
			准教授 近藤 正
			准教授 永吉 武志
			准教授 山本 聡史
	アグリビジネスマネジメント	農業農村マネジメント学	教授 鵜川 洋樹
			教授 荒樋 豊
			教授 岡田 直樹
			准教授 酒井 徹
			准教授 上田 賢悦
	フィールド農学	フィールド農学	教授 西村 洋
			准教授 今西 弘幸
准教授 保田謙太郎			
准教授 渡邊 潤			

講座	研究グループ	専門科目	指導教員
木質科学講座	木質科学	木質機能学 木質材料科学 木質資源利用学	教授 中村 昇
			教授 山内 繁
			教授 高田 克彦
			教授 栗本 康司
			教授 山内 秀文
			准教授 渡辺 千明
			准教授 岡崎 泰男
			准教授 澁谷 栄
			准教授 川井 安生
			准教授 足立 幸司

木質科学研究グループが出題する専門科目については、出題の際に本冊子5ページに記載の「出願先」アドミッションチームまでお問い合わせ下さい。

〔2年2月実施試験〕

- ① 各選抜区分毎の選抜方法は次のとおりです。

選 抜 区 分	選 抜 方 法
一 般 選 抜	学力検査、書類審査・面接を総合して判定します。
社 会 人 特 別 選 抜	書類審査、面接で判定します。
外国人・帰国子女特別選抜	
学部3年次学生を対象とする特別選抜	学力検査、書類審査・面接を総合して判定します。

- ② 一般選抜、学部3年次学生を対象とする特別選抜の学力検査として英語を課します。出題内容は、英文読解とします。
- ③ 面接には、受験者の卒業研究、研究業績又はこれらに準ずるものに関する口頭試問を含みます。

(3) 配点

〔元年8月実施試験〕

選 抜 区 分	学 力 検 査		書 類 審 査 ・ 面 接	合 計
	英 語	専 門		
一 般 選 抜	100	100	100	300
社 会 人 特 別 選 抜	/	/	200	200
外国人・帰国子女特別選抜	/	/	200	200

〔2年2月実施試験〕

選 抜 区 分	学 力 検 査 (英 語)	書 類 審 査 ・ 面 接	合 計
一 般 選 抜	100	100	200
社 会 人 特 別 選 抜		200	200
外国人・帰国子女特別選抜		200	200
学部3年次学生を対象とする特別選抜	100	100	200

(4) 試験時間割

〔元年8月実施試験〕

選 抜 区 分	学 力 検 査	面 接
一 般 選 抜	①専門 10:00～11:00 ②英語 11:30～12:30	13:30～
社 会 人 特 別 選 抜		
外国人・帰国子女特別選抜		

〔2年2月実施試験〕

選 抜 区 分	学 力 検 査	面 接
一 般 選 抜	英語 9:00～10:00	10:30～
社 会 人 特 別 選 抜		
外国人・帰国子女特別選抜		
学部3年次学生を対象とする特別選抜	英語 9:00～10:00	

(5) 試験会場

秋田県立大学秋田キャンパス (29ページ参照)

(6) 受験上の注意

- ① 当日は、受験票を必ず持参してください。
- ② 当日に受験票を忘れた者は、速やかに係員に申し出て仮受験票の交付を受けてください。
また、受験票は、入学手続の際に必要なため、試験後も大切に保管してください。
- ③ 受験者は、試験開始30分前までに指定された試験室又は面接控室に入室してください。
- ④ 学力検査開始後は、30分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。また、原則として、途中退室は認めません。
- ⑤ 面接開始時に不在であった場合には、欠席したものとして取り扱います。
- ⑥ 一般選抜、学部3年次学生を対象とする特別選抜で課す学力検査、面接のいずれかを受験しなかった者並びにその他の選抜区分で面接を受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。
- ⑦ 携帯電話等の電子機器類は、事前に必ず電源を切ってください。また、これらは時計として使用できません。
- ⑧ 本学と大学・学部間交流協定を結んでいる大学から推薦を受けて外国人・帰国子女特別選抜の区分で受験する者について、本学が必要と認める場合には、試験期日及び試験会場を変更する場合があります。

- ⑨ その他必要な事項が生じた場合には、受験票送付の際に併せて通知します。
- ⑩ 学部3年次学生を対象とする特別選抜に志願した者は、3年次修了時までの単位修得状況等を確認する必要がありますので、成績証明書及び在学証明書を令和2年2月28日(金)午後5時までに前記出願先に提出してください。

6 合格者発表

(1) 発表期日

元年8月実施試験	令和元年8月29日(木)	午後1時予定
2年2月実施試験	令和2年3月6日(金)	午後1時予定

(2) 発表方法

- ① 合格者の受験番号を秋田キャンパス正面入口前に掲示し、合格者に合格通知書を送付します。
- ② 電話等による問い合わせには一切応じません。

(3) インターネットによる合格者受験番号の提供

本学のホームページに合格者受験番号を掲載します。

アドレス <https://www.akita-pu.ac.jp/>

※ インターネットによる情報提供は、受験者の便宜を図るために行います。正式の合格者発表は上記(2)により行いますので、必ず確認してください。

7 入学手続、初年度納付金等

(1) 入学手続

① 入学手続期間

元年8月実施試験	令和元年9月10日(火)・11日(水)
2年2月実施試験	令和2年3月13日(金)・14日(土)

(受付時間：各日の午前9時～午後5時)

- ② 入学手続場所 秋田県立大学秋田キャンパス (28ページ参照)
- ③ 入学手続方法 入学手続の詳細及び必要な書類は、合格通知書とともに送付します。

(2) 初年度納付金等

① 入 学 料

ア 金 額 秋田県内の者 282,000円
 上記以外の者 423,000円

(注)「秋田県内の者」とは、次のいずれかに該当する者です。

- 一 入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者
- 二 配偶者又は1親等の親族が入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者
- 三 前2号に掲げる者のほか、これらの者に準ずる者として理事長が認めた者

イ 納付方法 合格通知書に同封する入学手続書類に従い、入学手続の際に納付してください。なお、本学が認める特別な理由がある場合を除き、納付した入学金は返還しません。

② 授業料

ア 金額 年額 535,800円

イ 納付方法 前期（納付期限4月30日）、後期（同10月31日）の2回に分けて納付してください。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(3) その他

① 授業料の減免

家庭の経済的事情又は不測の災害などのため授業料の納付が著しく困難な学生には授業料の減免制度があります。

② 奨学金

ア 独立行政法人日本学生支援機構が貸与する奨学金として、「第一種奨学金（無利子貸与）」と「第二種奨学金（有利子貸与）」があります。

第一種奨学金及び第二種奨学金の令和元年度貸与月額はおおりのとおりです。

種類	貸与月額
第一種奨学金 (無利子貸与)	50,000円又は88,000円から選択
第二種奨学金 (有利子貸与)	50,000円、80,000円、100,000円、130,000円又は150,000円から選択

イ この他にも、地方公共団体等の奨学金制度があります。

③ 特待生制度について

本学には成績優秀者を表彰し奨学金を給付する特待生制度があります。大学院への入学生を対象とした入学生特待生は、入試成績（面接・英語）により決定されます。社会人特別選抜及び外国人・帰国子女特別選抜区分による受験者で特待生選考の対象となることを希望する方は、入学試験の際、面接の他に英語の試験を受ける必要があります。希望する方は、入学志願票にその旨を記載してください。

注意事項

ア 10月入学者は次年度4月入学者と併せて特待生の選考を行います。

イ 学術振興会など日本学生支援機構以外の奨学金等を支給されている学生は、その金額や条件により特待生から除外されることがあります。

④ 長期履修学生制度について

本学には社会人など職業を有する者で、1年間に修得可能な単位数や研究指導を受ける時間が制限されるため、修業年限を超えて在学しなければ課程を修了することができない者に対して、申請に基づき大学が審査し、在学年限の範囲内で計画的に課程を履修し修了することにより学位の取得を認める長期履修学生制度があります。

⑤ 後援会について

後援会加入学生を対象として、学校教育活動中及び通学中を補償する学生保険（「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」・「学研災付帯賠償責任保険」）に一括加入しているほか、大学主催の各種就職対策講座やインターンシップへの助成、様々な資格取得への助成等を行っています。

後援会費は2年間で20,000円です。入会を希望する方は入学手続きの際にお申し出ください。

MEMO

Ⅲ 令和元年10月入学者選抜

一 般 選 抜
社 会 人 特 別 選 抜
外国人・帰国子女特別選抜

黄色の出願書類を使用して出願してください。

1 募集する専攻及び募集人員

専攻名	募集人員	元年8月実施試験
		一般選抜 社会人特別選抜 外国人・帰国子女特別選抜
生物資源科学専攻		若干名

2 出願資格

(1) 出願資格

【一般選抜】

以下の出願資格①～⑧のいずれかに該当する者が出願できます。

【社会人特別選抜】

2年以上の社会的経験を有する者で、以下の出願資格①～⑧のいずれかに該当する者が出願できます。なお、この選抜区分については、令和元年6月24日(月)から6月28日(金)までの間に志望指導教員まで問い合わせてください(受付時間:土・日を除く午前9時～午後5時)。

【外国人・帰国子女特別選抜】

外国人留学生及び外国の大学において学校教育を受けた者で、以下の出願資格①～⑧のいずれかに該当する者が出願できます。

- ① 大学を卒業した者及び令和元年9月までに卒業見込みの者
- ② 独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び令和元年9月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和元年9月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和元年9月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び令和元年9月までに修了見込みの者
- ⑥ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和元年9月までに修了見込みの者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者[旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校を卒業した者等]
- ⑧ その他大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、令和元年10月1日までに22歳に達するもの

(2) 入学資格審査

- ① 出願資格⑧により出願を希望する者については、入学資格審査を行います。入学資格審査を受けるにあたっては、次の期間内に申請が必要となりますので、下記ii)の各書類を後記「出願先」まで提出してください。(郵送の場合は、入学資格審査申請期間最終日の午後5時必着とします。持参の場合の受付時間は午前9時から午後5時までとします。

注意) 封筒には「入学資格審査申請書在中」と朱書きしてください。

i) 入学資格審査申請期間

令和元年6月24日(月)～6月28日(金)

ii) 入学資格審査に必要な書類

書 類 名	摘 要
入 学 資 格 審 査 申 請 書	様式は本学のホームページからダウンロードし、必要事項を記入してください。
履 歴 書	様式は任意です。
研 究 業 績 書	様式は任意とし、論文要旨、論文発表業績または研究業績のいずれかを提出してください。
返 送 用 封 筒 (入学資格審査結果送付用)	長形3号の封筒に、郵便番号、住所及び氏名を明記し、82円分の切手を貼付してください。

- ② 入学資格審査の結果は、令和元年7月19日(金)までに本人あてに通知します。

3 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について

本大学院に入学を志願する者で、障害(学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度)や疾病・負傷等により、受験上及び修学上において特別の配慮を希望する場合は、後記「出願先」まで、できるだけ早く事前相談を行うようにしてください。相談を受けて、志願者の普段の様子をよく知る者に連絡をとることもあります。また、希望する配慮を必ずしも実施できるとは限りません。期限は令和元年6月28日(金)までとします。

また、上記期限後に不慮の事故等により、受験上及び修学上の配慮が必要となった場合には、速やかに連絡してください。

4 出願期間及び出願方法等

(1) 出願期間

令和元年7月26日(金)～8月1日(木)

(2) 出願方法

- ① 出願は同封の出願用紙及び封筒を用い、「書留速達による郵送」又は「持参」により行ってください。
- ② 郵送の場合は、出願期間最終日の午後5時必着とします。持参の場合の受付時間は午前9時から午後5時までとし、土曜日、日曜日の受付は行いません。
- ③ 指導教員等が変更になる場合がありますので、出願者は、出願前のなるべく早い時期に必ず志望指導教員と連絡をとってください。なお、外国人・帰国子女特別選抜の出願者の連絡記録は、提出書類の一つとなります。

(3) 入学検定料

30,000円

(4) 出願先

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム (秋田キャンパス)

T E L 018-872-1535 F A X 018-872-1670

(5) 出願書類

本学所定の出願書類を使用し、各選抜区分欄に、○印を付した書類を原則としてすべて提出してください。△印を付した書類は該当者のみ提出してください。「-」を付した書類は提出不要です。

書 類 名	摘 要	選抜区分		
		一 般 選 抜	社 会 人 特 別 選 抜	外 国 人 帰 国 子 女 特 別 選 抜
A票 入学志願票	① 「提出書類の記入例及び記入上の注意 (31ページ)」及び「生物資源科学研究科の案内 (33ページ～)」を参照の上、必要事項を漏れなく記入してください。 ② 選抜区分、第1志望グループ及び第1志望指導教員は必ず記入してください。なお、第2志望まで記入できます。	○	○	○
B票 受験票	① 「出願書類の記入例及び記入上の注意 (32ページ)」を参照の上、必要事項を漏れなく記入してください。	○	○	○
C票 写真票	② 縦4cm×横3cmの写真(正面上半身、無帽、背景なしで出願前3か月以内に撮影したもの)を貼付してください。	○	○	○
D票 住所票	① A票(入学志願票)の連絡先と同じ住所を記入してください。 ② 入学手続等の連絡を行うために使用します。	○	○	○
E票 入学検定料振込用紙	入学検定料は、次の期間に振り込んでください。 【元年8月実施試験】 令和元年7月19日(金)～8月1日(木) [15:00] ① 必要事項を記入し、金融機関(郵便局・ゆうちょ銀行を除く)の窓口で、入学検定料30,000円を振り込んでください。 ATMでの振り込みはできません。 なお、振込手数料は志願者本人の負担になります。 ② 振り込み後、収納印を受けたE-3票(検定料振込証明書)をA票(入学志願票)の所定の欄に貼付してください。	○	○	○
F票 志望理由書	800字程度で志望理由を記入してください。	○	○	○

書類名	摘要	選抜区分		
		一般選抜	社会人特別選抜	外国人・帰国子女特別選抜
G票 受験票送付用封筒	「受験票」を送付するための返信用封筒です。封筒に郵便番号、住所、氏名を明記し、速達郵送分の切手を貼付してください。	○	○	○
H票 出願用封筒	出願書類を入れて、「書留速達による郵送」又は「持参」により提出してください。	○	○	○
I票 業績レポート	一般選抜又は外国人・帰国子女特別選抜に出願する者で出願資格⑧に該当するもの、又は社会人特別選抜に出願する者は本大学院所定の用紙に業績を記入してください。	△	○	△
卒業（見込）証明書 又は学位授与（申請受理）証明書	① 出身大学の学長等、又は大学評価・学位授与機構が発行する証明書を提出してください。 ② 大学評価・学位授与機構に学位授与申請中の場合は、同機構が交付する学位授与申請受理証明書を提出してください。	○	○	○
成績証明書	出身大学の学長等が発行する成績証明書を厳封して提出してください。	○	○	○
住民票の写し 又は、パスポートの写し	日本に住所を有する外国籍の者は、住民票の写し（出願前3か月以内に発行したもの）を提出してください。受験のために来日する外国籍の者は、パスポートの写しを提出してください。	△	△	△
受験承諾書	企業等に在籍のまま本大学院への入学を希望する者は、企業等の所属長が作成した受験承諾書を提出してください（様式は任意とします）。	△	△	△
受験許可書	他の大学院に在学中の者は、当該大学院が発行した受験許可書を提出してください（様式は任意とします）。	△	△	△
志望指導教員との 連絡記録	志望指導教員と連絡をとった際の連絡記録（手紙、Eメール等の写し）を提出してください。	—	—	○
安全保障輸出管理 に関する誓約書	外国籍の方、または、日本国籍を有するが非居住者に該当する方は、本学ホームページに掲載の「安全保障輸出管理に関する誓約書」の内容を確認のうえ、必要事項を記入・押印、またはサインをし、提出してください。 URL https://www.akita-pu.ac.jp/nyushi/joho/joho-daigakuin/	△	△	△
その他本学が 指定する書類	入学資格審査の結果、必要と認められる書類について連絡があった場合に提出してください。	△	△	△

【注】各種証明書等の中で提出が困難な書類の取扱いについては、出願までに前記「出願先」までお問い合わせください。

(6) 出願上の注意事項

- ① 出願にあたっては、「生物資源科学研究科の案内（33ページ～）」を参照の上、必ず志望指導教員に問い合わせてください。問い合わせの際は、前記「出願先」に連絡してください。
- ② 出願書類に、次のような不備のあるものは受理しないことがあるので、十分確認してください。
 - ア 出願書類がそろっていないもの
 - イ 記入漏れ、誤記のあるもの
- ③ 出願書類の記入にあたっては、「出願書類の記入例及び記入上の注意（31ページ～）」を参照してください。
- ④ 出願受付後の出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所及び電話番号に変更があった場合は、前記「出願先」まで連絡してください。
- ⑤ 受験票は、出願期間終了後に本人あてに送付します。令和元年8月9日（金）までに受験票が届かない場合は、前記「出願先」までお問い合わせください。
- ⑥ 外国から本大学院受験のために来日する者は、日本国への入国に必要な書類の発給に時間を要する場合がありますので、発給元に所要時間、必要書類を確認するなど受験に間に合うように十分注意してください。
- ⑦ 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「秋田県立大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生等の受け入れに際し厳格な審査を行っています。規制事項に該当する場合は、希望する教育や研究が受けられない場合がありますので、注意してください。
- ⑧ 一度受理した出願書類は返還しません。

(7) 入学検定料の返還請求について

既納の入学検定料は、次の場合に限り返還します。

返 還 事 由	返 還 額※
(ア) 入学検定料を振り込んだが、出願しなかった場合	30,000円
(イ) 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合	30,000円

※実際の返還額は、振込手数料を差し引いた額となります。

返還を希望する方は「入学検定料返還請求書」を本学ホームページからダウンロードし、必要事項を記入の上、払込済みの検定料振込証明書を同封して次の送付先へ請求してください。

送 付 先：〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

送付期限：令和2年2月28日（金）

注意）封筒には「入学検定料返還請求書在中」と朱書きしてください。

5 選抜方法等

(1) 試験期日

令和元年8月23日(金)

(2) 選抜方法

① 選抜区分毎の選抜方法は次のとおりです。

選 抜 区 分	選 抜 方 法
一 般 選 抜	学力検査、書類審査・面接を総合して判定します。
社 会 人 特 別 選 抜	書類審査・面接で判定します。
外国人・帰国子女特別選抜	

② 学力検査の出題科目等は、別表1及び別表2を参照してください。

別表1 学力検査科目一覧表

区分		生物資源科学専攻
一般選抜	英 語	英文読解
	専門科目	別表2に示す研究グループが出題する1科目

別表2 専門科目等一覧表

第1志望指導教員と対応する科目を1科目選択する。

講座	研究グループ	専門科目	指導教員
応 用 生 物 科 学 講 座	微生物機能	微生物学	教 授 福 島 淳
		生物化学	准教授 春 日 和
		細胞工学	准教授 村 口 元
	分子細胞機能	分子細胞生物学	教 授 岡 野 桂 樹 **
			教 授 村 田 純
			教 授 穂 坂 正 博
			教 授 小 林 正 之
	植物機能科学	生物有機化学	教 授 吉 澤 結 子 ***
			准教授 水 野 幸 一
			准教授 王 敬 銘
			准教授 常 盤 野 哲 生
			准教授 尾 崎 紀 昭
	食品醸造	食品科学	教 授 陳 介 余
			准教授 張 茵
		醸造学	准教授 石 川 匡 子
教 授 橋 爪 克 己 **			
教 授 中 沢 伸 重			

* は休職中を示す。

** は、令和3年3月退職を示す。

講座	研究グループ	専門科目	指導教員
生物生産科学講座	植物生産基礎	植物栄養・肥科学	教授 服部 浩之**
		植物生態・生理学	教授 渡邊 肇
			教授 小川 敦史
		植物病理学	教授 藤 晋一
	植物栄養学	准教授 頼 泰樹	
	植物遺伝・育種	植物分子遺伝学	教授 赤木 宏守
			准教授 櫻井 健二
			准教授 上田 健治
			准教授 渡辺 明夫
	植物生理	植物生理学	教授 鈴木 英治
			教授 藤田 直子
	分子シグナル制御	生物活性物質化学	教授 田母神 繁
			准教授 阿部 誠
	植物資源創成システム	植物発生遺伝学	准教授 佐藤奈美子
		生物環境調節学	准教授 小峰 正史
		植物工学	准教授 原 光二郎
生物環境科学講座	陸域生物圏	気象学	准教授 井上 誠
		水圏環境学	准教授 木口 倫
		土壌環境学	准教授 佐藤 孝
		森林科学	教授 蒔田 明史
	教授 星崎 和彦		
	環境管理修復	自然生態管理学	教授 高橋 正
			准教授 石川 祐一
			准教授 早川 敦
		環境生態工学	教授 宮田 直幸
	地域計画	地域資源経済学	教授 長濱健一郎
			准教授 中村 勝則
			准教授 渡部 岳陽
		環境社会学	教授 谷口 吉光
	基礎生命科学	統計学	准教授 小西 智一

** は、令和3年3月退職を示す。

講座	研究グループ	専門科目	指導教員
アグリビジネス学講座	アグリテクノロジー	作物生産・雑草学	教授 露崎 浩
			准教授 永澤 信洋
		園芸生産利用学	教授 吉田 康德
			准教授 神田 啓臣
	准教授 北本 尚子		
	家畜生産学	准教授 横尾 正樹	
	ルーラルエンジニアリング	地域環境工学	教授 増本 隆夫
			准教授 近藤 正
			准教授 永吉 武志
			准教授 山本 聡史
	アグリビジネスマネジメント	農業農村マネジメント学	教授 鶴川 洋樹
			教授 荒樋 豊
			教授 岡田 直樹
			准教授 酒井 徹
			准教授 上田 賢悦
	フィールド農学	フィールド農学	教授 西村 洋
			准教授 今西 弘幸
			准教授 保田謙太郎
			准教授 渡邊 潤
木質科学講座	木質科学	木質機能学 木質材料科学 木質資源利用学	教授 中村 昇
			教授 山内 繁
			教授 高田 克彦
			教授 栗本 康司
			教授 山内 秀文
			准教授 渡辺 千明
			准教授 岡崎 泰男
			准教授 澁谷 栄
			准教授 川井 安生
			准教授 足立 幸司

**は、令和3年3月退職を示す。

木質科学研究グループが出題する専門科目については、出題の際に本冊子5ページに記載の「出願先」アドミッションチームまでお問い合わせ下さい。

(3) 配点

選 抜 区 分	学 力 検 査		書 類 審 査 ・ 面 接	合 計
	英 語	専 門		
一 般 選 抜	100	100	100	300
社 会 人 特 別 選 抜	—	—	200	200
外 国 人 ・ 帰 国 子 女 特 別 選 抜	—	—	200	200

(4) 試験時間割

選 抜 区 分	学 力 検 査	面 接
一 般 選 抜	①専門 10：00～11：00 ②英語 11：30～12：30	13：30～
社 会 人 特 別 選 抜		
外 国 人 ・ 帰 国 子 女 特 別 選 抜		

(5) 試験会場

秋田県立大学秋田キャンパス（29ページ参照）

(6) 受験上の注意

- ① 当日は、受験票を必ず持参してください。
- ② 当日に受験票を忘れた者は、速やかに係員に申し出て仮受験票の交付を受けてください。また、受験票は、入学手続の際に必要なため、試験後も大切に保管してください。
- ③ 受験者は、試験開始30分前までに指定された試験室又は面接控室に入室してください。
- ④ 学力検査開始後は、30分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。また、原則として、途中退室は認めません。
- ⑤ 面接開始時に不在であった場合には、欠席したものとして取り扱います。
- ⑥ 一般選抜で課す学力検査、面接のいずれかを受験しなかった者並びに社会人特別選抜、外国人・帰国子女特別選抜で面接を受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。
- ⑦ 携帯電話等の電子機器類は、事前に必ず電源を切ってください。また、これらは時計として使用できません。
- ⑧ 本学と大学・学部間交流協定を結んでいる大学から推薦を受けて外国人・帰国子女特別選抜の区分で受験する者について、本学が必要と認める場合には、試験期日及び試験会場を変更する場合があります。
- ⑨ その他必要な事項が生じた場合には、受験票送付の際に併せて通知します。

6 合格者発表

(1) 発表期日

令和元年8月29日(木) 午後1時予定

(2) 発表方法

- ① 合格者の受験番号を秋田キャンパス正面入口前に掲示し、合格者に合格通知書を送付します。
- ② 電話等による問い合わせには一切応じません。

(3) インターネットによる合格者受験番号の提供

本学のホームページに合格者受験番号を掲載します。

アドレス <https://www.akita-pu.ac.jp/>

※ インターネットによる情報提供は、受験者の便宜を図るために行います。正式の合格者発表は前記(2)により行いますので、必ず確認してください。

7 入学手続、初年度納付金等

(1) 入学手続

- ① 入学手続期間 令和元年9月10日(火)・11日(水)
(受付時間：午前9時～午後5時)
- ② 入学手続場所 秋田県立大学秋田キャンパス (27ページ参照)
- ③ 入学手続方法 入学手続の詳細及び必要な書類は、合格通知書とともに送付します。

(2) 初年度納付金等

① 入 学 料

ア 金 額 秋田県内の者 282,000円
上記以外の者 423,000円

(注)「秋田県内の者」とは、次のいずれかに該当する者です。

- 一 入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者
- 二 配偶者又は1親等の親族が入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者
- 三 前2号に掲げる者のほか、これらの者に準ずる者として理事長が認めた者

イ 納付方法 合格通知書に同封する入学手続書類に従い、入学手続の際に納付してください。なお、本学が認める特別な理由がある場合を除き、納付した入学金は返還しません。

② 授 業 料

ア 金 額 年額 535,800円

イ 納付方法 前期(納付期限4月30日)、後期(同10月31日)の2回に分けて納付してください。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(3) その他

① 授業料の減免

家庭の経済的事情又は不測の災害などのため授業料の納付が著しく困難な学生には授業料の減免制度があります。

② 奨学金

ア 独立行政法人日本学生支援機構が貸与する奨学金として、「第一種奨学金（無利子貸与）」と「第二種奨学金（有利子貸与）」があります。

第一種奨学金及び第二種奨学金の令和元年度貸与月額はおおりのとおりです。

種 類	貸 与 月 額
第一種奨学金 (無利子貸与)	50,000円又は88,000円から選択
第二種奨学金 (有利子貸与)	50,000円、80,000円、100,000円、130,000円又は150,000円から選択

イ この他にも、地方公共団体等の奨学金制度があります。

③ 特待生制度について

本学には成績優秀者を表彰し奨学金を給付する特待生制度があります。大学院への入学生を対象とした入学生特待生は、入試成績（面接・英語）により決定されます。社会人特別選抜及び外国人・帰国子女特別選抜区分による受験者で特待生選考の対象となることを希望する方は、入学試験の際、面接の他に英語の試験を受ける必要があります。希望する方は、入学志願票にその旨を記載してください。

注意事項

ア 10月入学者は次年度4月入学者と併せて特待生の選考を行います。

イ 学術振興会など日本学生支援機構以外の奨学金等を支給されている学生は、その金額や条件により特待生から除外されることがあります。

④ 長期履修学生制度について

本学には社会人など職業を有する者で、1年間に修得可能な単位数や研究指導を受ける時間が制限されるため、修業年限を超えて在学しなければ課程を修了することができない者に対して、申請に基づき大学が審査し、在学年限の範囲内で計画的に課程を履修し修了することにより学位の取得を認める長期履修学生制度があります。

⑤ 後援会について

後援会加入学生を対象として、学校教育活動中及び通学中を補償する学生保険（「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」・「学研災付帯賠償責任保険」）に一括加入しているほか、大学主催の各種就職対策講座やインターンシップへの助成、様々な資格取得への助成等を行っています。

後援会費は2年間で20,000円です。入会を希望する方は入学手続きの際にお申し出ください。

IV 共通事項

1 入学試験成績の開示

当該入学者選抜試験に係る個人情報の開示は、本人に限って、次により口頭で請求し、その場で閲覧することができます。ただし、「公立大学法人秋田県立大学入試情報公開規程」に基づき、合格者が10名に満たない専攻については不合格者のみの開示となるので注意してください。

(1) 請求の方法

本人が、開示場所（秋田県立大学教育本部アドミッションチーム（秋田キャンパス））に向いて請求してください。郵送による請求はできません。

また、請求者が本人であることを確認するため、必ず受験票を持参してください。

(2) 開示する情報

得点

(3) 開示する期間

合格発表の日から1か月間

(4) 入学試験成績の開示についての問い合わせ先

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

T E L 018-872-1535 F A X 018-872-1670

2 個人情報の取扱いについて

個人情報については、「公立大学法人秋田県立大学個人情報保護規程」に基づいて取り扱います。

(1) 出願にあたって知り得た個人情報は、次の業務を行うために利用します。

- ① 入学者選抜（出願手続、選抜実施）
- ② 合格者発表
- ③ 入学手続
- ④ 次年度以降の学生募集

(2) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料作成のために利用します。

(3) 出願にあたって知り得た個人情報は、入学者についてのみ、次の業務を行うために利用しません。

- ① 教務関係（学籍、修学指導等）
- ② 学生支援関係（奨学金申請等）
- ③ 授業料徴収

(4) 本学に出願した者は、上記の記載内容に同意したものとみなします。

【キャンパス案内図】

秋田キャンパス案内図

〒010-0195 秋田県秋田市下新城の中野字街道端西241-438

TEL 018-872-1535

FAX 018-872-1670

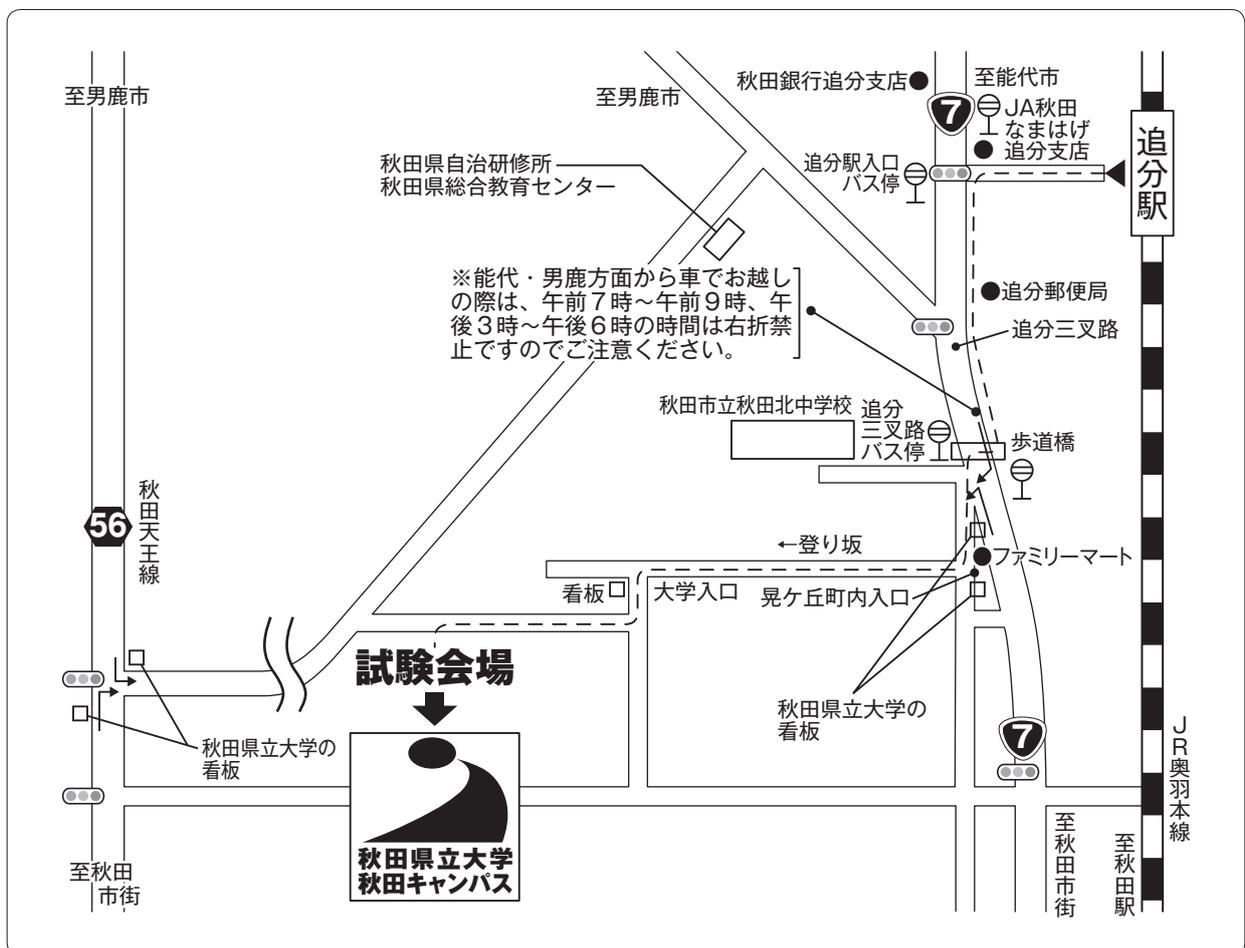
秋田キャンパスまでの交通

鉄道利用：JR奥羽本線・男鹿線「追分駅」にて下車後、
徒歩約20分

バス利用：JR奥羽本線「秋田駅」から五城目線、追分線を利用し、
バス停「追分三叉路」にて下車後、徒歩約10分



拡大図





大潟キャンパス案内図 〒010-0444 秋田県南秋田郡大潟村字南 2-2
 TEL 0185-45-2026 FAX 0185-45-2377
 秋田空港から車で約1時間30分
 秋田駅から八郎潟駅までJRで約30分
 八郎潟駅から車で約20分



木材高度加工研究所案内図 〒016-0876 秋田県能代市字海詠坂11-1
 TEL 0185-52-6900 FAX 0185-52-6924
 秋田空港から車で約1時間30分
 大館能代空港から車で約1時間
 秋田駅から能代駅までJRで約50分
 能代駅から車で約10分

【出願書類の記入例及び記入上の注意】

ここでは、令和2年4月入学者選抜に係る出願書類を例として記載しています。
 令和2年4月入学者選抜の出願書類(水色)は、元年8月実施試験、2年2月実施試験に共通です。
 令和元年10月入学者選抜に出願する場合は、黄色の出願書類を使用して同様に記入してください。

令和2年度 秋田県立大学大学院 入学志願票 【博士前期課程】

A 票

受験番号 ※ ● 何も記入しないでください。

選抜区分	① 一般選抜 2: 社会人特別選抜 → 【特待生選考を希望(する・しない)】 3: 外国人・帰国子女特別選抜 → 【特待生選考を希望(する・しない)】 4: 学部3年次学生を対象とする特別選抜	
志望研究科	生物資源科学研究科	
志望専攻・グループ	第1志望(必須)	第2志望(任意)
	生物資源科学専攻 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">食品醸造</div> グループ	生物資源科学専攻 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">微生物機能</div> グループ
志望指導教員	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">秋田 太郎</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">秋田 花子</div>

注1) 選抜区分については該当番号を○で囲み、志望グループについては、 内に名称を記入してください。
 注2) 志望指導教員については、 内に氏名を記入してください。

志願者	氏名	(カナ) ナカノ コマチ
		(漢字) 姓 中野 名 こまち
	性別・生年月日・国籍	男・ 女 1998年01月05日生 日本 ・外国
	住所	〒 010 0195 秋田県秋田市下新城野字海道端西241-535 県大アパート101号
	電話番号	018-872-1535 局番の間は“-”(ハイフン)を記入
履歴書	学歴	2016.3.31 私立秋田学院高等学校普通科卒業 2016.4.1 秋田県立大学生物資源科学部応用生物科学科入学 2020.3.31 同上 卒業見込
	職歴	
	取得学位	2020.3.31 学士(生物資源科学) 取得見込
出願資格の区分	一般選抜	① 2. 3. 4. 5. 6. 7. 13
	社会人特別選抜	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 13
	外国人・帰国子女特別選抜	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 13
	学部3年次学生を対象とする特別選抜	8. 9. 10. 11. 12

入学手続書類を送付する住所と日に連絡の取れる電話番号を記入してください。

生年月日は西暦で記入してください。生年月日の数字が1ケタの場合「01」のように「0」を記入してください。

訂正する場合は、二重線で訂正してください。

E-3票
 (検定料振込証明書)
 貼付欄

※金融機関の収納印があることを必ず確認のうえ、はがれないようにしっかり貼り付けてください。

該当する番号を○で囲んでください。

必ず、E-3票(検定料振込証明書)を貼付してください。

令和2年度 秋田県立大学大学院 入学試験 受験票〔博士前期課程〕

B 票

何も記入しないでください。

受験番号 ※

選抜区分	① 一般選抜 2. 社会人特別選抜 → 【特待生選考を希望（する・しない）】 3. 外国人・帰国子女特別選抜 → 【特待生選考を希望（する・しない）】 4. 学部3年次学生を対象とする特別選抜	
志望専攻・グループ	生物資源科学研究科	生物資源科学専攻
	第1志望（必須）	第2志望（任意）
	食品醸造 グループ	微生物機能 グループ
志望指導教員	秋田 太郎	秋田 花子
フリガナ	ナカノ コマチ	
氏名	中野 こまち (男・ <input checked="" type="radio"/> 女)	

第1志望のグループを必ず記入してください。

第2志望の専攻・グループがある場合は記入してください。

写真貼付欄
 <注意>
 正面上半身、無帽、背景なしで
 出願前3か月以内に撮影したもの
 縦4cm×横3cm

- 注意事項
- 1 選抜区分については、該当番号を○で囲んでください。
 - 2 本受験票は、試験当日必ず携帯してください。
 - 3 受験票は、入学手続きの際にも必要となるので、紛失しないでください。
 - 4 ※印の欄には記入しないでください。

貼付する写真は、モノクロ、カラーのどちらでもかまいません。写真の裏面に氏名、志望グループを記入し、はがれないように、しっかりと貼りつけてください。

令和2年度 秋田県立大学大学院 入学試験 写真票〔博士前期課程〕

C 票

受験番号 ※

選抜区分	① 一般選抜 2. 社会人特別選抜 → 【特待生選考を希望（する・しない）】 3. 外国人・帰国子女特別選抜 → 【特待生選考を希望（する・しない）】 4. 学部3年次学生を対象とする特別選抜	
志望専攻・グループ	生物資源科学研究科	生物資源科学専攻
	第1志望（必須）	第2志望（任意）
	食品醸造 グループ	微生物機能 グループ
志望指導教員	秋田 太郎	秋田 花子
フリガナ	ナカノ コマチ	
氏名	中野 こまち (男・ <input checked="" type="radio"/> 女)	

- 注意事項
- 1 選抜区分については、該当番号を○で囲んでください。
 - 2 ※印の欄には記入しないでください。

上記受験票と同様に記入してください。

写真貼付欄
 <注意>
 正面上半身、無帽、背景なしで
 出願前3か月以内に撮影したもの
 縦4cm×横3cm

※B票とC票は、同一の写真を貼付してください。（プリンターから印刷したものは不可）

生物資源科学研究科の案内

前期課程 生物資源科学専攻

後期課程 生物資源科学専攻

1 生物資源科学研究科の概要

生物資源科学研究科 生物資源科学専攻は博士前期課程5講座と博士後期課程5講座を置きます。各講座に属する研究グループは次のとおりです。

生物資源科学専攻

① 応用生物科学講座

微生物機能グループ、分子細胞機能グループ、植物機能科学グループ、食品醸造グループ

② 生物生産科学講座

植物生産基礎グループ、植物遺伝・育種グループ、植物生理グループ、
分子シグナル制御グループ、植物資源創成システムグループ

③ 生物環境科学講座

陸域生物圏グループ、環境管理修復グループ、地域計画グループ、
基礎生命科学グループ

④ アグリビジネス学講座

アグリテクノロジーグループ、ルーラルエンジニアリンググループ（博士前期課程のみ）、
アグリビジネスマネジメントグループ（博士前期課程のみ）、フィールド農学グループ

⑤ 木質科学講座

木質科学グループ

2 指導教員と研究テーマ

研究グループに所属する指導教員の研究テーマは次ページ以降の一覧のとおりです。

各研究テーマ等の詳細については、本学のホームページの「地域連携・研究推進センター」内の「研究者総覧」に掲載しておりますので、参考にしてください。

本学のホームページアドレス (<https://www.akita-pu.ac.jp/>)

授業科目は原則として秋田キャンパスで開講されます。論文指導は指導教員の所属キャンパスで行います。

生物資源科学専攻

講座	研究グループ	氏名	研究テーマ
応用生物科学講座	微生物機能	教授 福島 淳	土壌や動物腸内等の環境に生息する微生物のゲノム解読およびメタゲノム手法を含む分子生物学的及び生化学的方法による機能解析とその応用に関する研究
		准教授 春日 和	放線菌におけるセルロース系バイオマス分解系の解明、およびセルロース系バイオマスを有効利用して抗生物質生産に応用する研究 微生物におけるD-アミノ酸の機能解析およびその応用研究
		准教授 村口 元	担子菌のモデル生物であるウシグソヒトヨタケを実験材料とし、担子菌の菌糸成長・子実体形成・代謝に関する分子機構の解明とその応用を目指した研究
	分子細胞機能	教授 岡野 桂樹**	海洋生物、特にフジツボの付着の分子機構に関する研究 海洋生物の寄生・共生の分子機構に関する研究 秋田犬の毛に関する研究
		教授 村田 純	癌細胞の運動調節機構、特に運動抑制の細胞内情報伝達機構に関する分子生物学的研究と、細胞運動抑制に重要な分子の調節による癌転移抑制に関する研究
		教授 穂坂 正博	動物の神経伝達・ホルモン分泌といった情報伝達機能を分子生物学的・細胞生物学的手法で解析する研究
		教授 小林 正之	哺乳動物の発生学：マウス初期胚から樹立できる幹細胞群（ES細胞など）をもちいた、胎仔・胎盤・iPS細胞の形成を担う新たな分子基盤に関する研究
	植物機能科学	教授 吉澤 結子***	植物由来の生理活性化合物の探索とその生合成および利用に関する有機化学的研究
		准教授 水野 幸一	植物由来の生理活性化合物の生合成機構に関する酵素化学・遺伝子工学的研究
		准教授 王 敬銘	植物ホルモン生合成機能を調節する生理活性物質の合成と作用機構解析研究
		准教授 常盤野哲生	植物由来の生理活性化合物の有機合成研究および分子の構造解析
		准教授 尾崎 紀昭	植物におけるバイオミネラル化の分子機構解明 地域の未利用バイオマスを活用した機能性材料の開発
		准教授 岩崎 郁子	植物オリジナルの浸透圧調節のしくみに関する研究 地衣類共生シアノバクテリアの光合成
	食品醸造	教授 陳 介余	食品の品質特性の科学的解明および貯蔵に伴う品質低下の要因解明 食品の安全・安心および品質向上をめざした食品素材の迅速品質計測技術の開発
		准教授 張 茵	食品の美味しさに寄与する成分因子の解明および高品質食品の開発に関する研究 穀物類・油脂類の成分組成特性の解析および品質評価指標の構築
		准教授 石川 匡子	食品の嗜好性ならびに加工適正に与える食塩の影響に関する研究 天然素材との相乗効果を利用した塩味を強く感じさせる新規調味塩の開発
		教授 橋爪 克己**	酒類原料の特性と麹菌生産物の機能の解明および醸造への応用に関する研究
		教授 中沢 伸重	白神こだま酵母の長寿メカニズムの解析 白神こだま酵母より分離した冷凍耐性株の機能解析

*は休職中を示す。

**は令和3年3月退職を示す。

注1) 出願にあたっては志望研究グループの担当教員に問い合わせてください。

注2) 授業科目は原則として秋田キャンパスで開講されます。論文指導は指導教員の所属キャンパスで行います。

講座	研究グループ	氏名	研究テーマ
生物生産科学講座	植物生産基礎	教授 服部 浩之**	植物による汚染土壌や塩類土壌の修復に関する研究 有機性廃棄物の堆肥化と利用に関する研究 土壌中での有害元素の形態と植物の有害元素吸収抑制
		教授 渡邊 肇	直播栽培を基軸としたイネの省力・低コスト、環境保全型栽培作物の収量と品質向上に関する生理・生態的研究 イネの環境応答に関するメカニズムの解明と品種育成・栽培技術への応用
		教授 小川 敦史	浸透圧ストレスに対する作物根系機能発現に関する形態学的、生理学的、分子生物学的研究 環境制御を利用した高付加価値・機能性野菜の栽培方法の確立
		教授 藤 晋一	農作物に発生する菌類・ウイルス病の実用的な診断法の開発 分子マーカーを利用した発生生態の解明 化学合成農薬に依存しない防除法の開発
		准教授 頼 泰樹	有害元素を吸収しない、しにくい水稻の開発 有機質肥料施用によるアミノ酸の作物栽培における意義 バイオマス燃料としてもみ殻の有効利用
	植物遺伝・育種	教授 赤木 宏守	イネの低温適応および重金属蓄積の分子機構の解明 DNAマーカー選抜とピラミディングによるイネ育種法の開発
		准教授 櫻井 健二	果樹における生殖生理および機能性成分の合成に関連する遺伝子の機能解析と育種への利用に関する研究
		准教授 上田 健治	突然変異体やゲノム編集技術を用いた花粉形成で重要な遺伝子の同定とその利用 植物の雄性生殖細胞分化の分子機構の解明
		准教授 渡辺 明夫	シロイヌナズナを用いた植物の生命プログラムの研究 植物のストレス耐性機構の解明 シロイヌナズナの異数体に関する研究
	植物生理	教授 鈴木 英治	原始的な光合成微生物（シアノバクテリア）から陸上植物への、貯蔵多糖生産代謝能力の進化機構 光合成微生物のバイオマスの利用に関する技術開発
		教授 藤田 直子	澱粉の構造や性質が改変した変異体米の作出およびその産業利用可能性の探求 澱粉生合成メカニズムの解明
	分子シグナル制御	教授 田母神 繁	昆虫や植物の生活環で化学生態学的に機能する生物活性物質の単離・合成、および、活性物質の作用発現メカニズムに関する有機化学的研究
		准教授 阿部 誠	植物を食べる昆虫と植物との相互関係の化学的手法による解明 昆虫類を用いた生態毒性試験法の開発
		准教授 佐藤奈美子	イネの形を決めるメカニズムについての発生遺伝学的モデル構築 イネの発生時に機能するシグナル伝達物質についての分子遺伝学的解明
	植物資源創成システム	准教授 小峰 正史	栽培施設での環境調節・制御による生物生産の効率化研究 採算性のある植物工場実現に向けた、システムならびに新規栽培作物の開発研究
准教授 原 光二郎		植物・地衣類由来の有用物質・タンパク質の生産に関する遺伝子工学的研究	

**は令和3年3月退職を示す。

注1) 出願にあたっては志望研究グループの担当教員に問い合わせてください。

注2) 授業科目は原則として秋田キャンパスで開講されます。論文指導は指導教員の所属キャンパスで行います。

講座	研究グループ	氏名	研究テーマ
生物 環境 科学 講座	陸域生物圏	准教授 井上 誠	温室効果ガスの観測手法の開発 気候変動が農作物生産に及ぼす影響に関する研究 異常気象・気象災害の実態把握とメカニズムの解明
		准教授 木口 倫	環境・生物・農産物中の微量化学物質の動態研究 微量化学物質の迅速・精密分析法の開発
		准教授 佐藤 孝	マメ科・根粒菌共生窒素固定を有効利用した低投入・低環境 負荷農業の確立
		教授 蒔田 明史	ササの開花習性とクローナル特性の進化の探求 環境教育を基とした人と自然との関係性に関する研究
		教授 星崎 和彦	ビッグデータを利用した森林の動態解析 樹木の成長量と開花結実における気候変動の影響抽出 統計モデルを利用した動物の個体数や種子散布パターンの解析
	環境管理修復	教授 高橋 正	森林地帯の土壌生成と土壌劣化モニタリング 未利用資源を利用した環境修復
		准教授 石川 祐一	地域の生物資源を利用した環境修復技術の開発 重金属汚染土壌・塩性土壌など問題土壌の環境修復に関する研究
		准教授 早川 敦	流域スケールの生元素の生物地球化学循環とその最適化に関 する研究 生態系の水質浄化機能とその広域評価・修復に関する研究
		教授 宮田 直幸	生態工学的手法による湖沼等水環境の修復・保全 生物利用による水質浄化・レアメタル等資源回収技術の開発
	地域計画	教授 長濱健一郎	地域資源の利活用と主体に関する研究 農業生産における環境評価に関する研究
		准教授 中村 勝則	地域における農業法人の行動原理と評価手法に関する研究 農業構造の変動と地域資源・環境保全に関する研究
		准教授 渡部 岳陽	地域農業の構造分析とその再編起動に関する研究 バイオマス資源を活かした地域活性化に関する研究
		教授 谷口 吉光	コモンズとしての八郎湖の再生に関する研究 持続可能な社会を構築するための地産地消に関する研究
	基礎生命科学	准教授 小西 智一	トランスクリプトミクスとゲノミクスのバイオインフォマティクス研究 機能性食品の作用機作 リポタンパク質の測定方法 パラメトリック統計学の応用

注1) 出願にあたっては志望研究グループの担当教員にお問い合わせください。

注2) 授業科目は原則として秋田キャンパスで開講されます。論文指導は指導教員の所属キャンパスで行います。

講座	研究グループ	氏名	研究テーマ
アグリテクノロジー	アグリテクノロジー	教授 露崎 浩	畑作物（ダイズ、ムギ類）の安定・多収を目指した環境保全型生産技術の開発 畑地の難防除雑草の生態解明と制御技術の開発ならびに雑草の生存戦略研究
		准教授 永澤 信洋	イネの育種の基礎となる遺伝学的研究（主に胚・栄養生長・花・穂などの形態形成を制御する遺伝的プログラムの解明）
		教授 吉田 康德	園芸作物の生理生態的特性を活用した生産システムの開発に関する研究 植物成長調整物質を活用した生産技術の開発 園芸作物の組織形態学的研究
		准教授 神田 啓臣	花きの栽培技術（促成栽培や抑制栽培）や繁殖技術に関する研究 福祉や教育の場面への園芸の活用に関する研究（老人ホーム入所者を対象とする園芸活動等）
		准教授 北本 尚子	リンゴのカラムナー（円筒形）樹形品種を用いた多雪地域に適した超省力型栽培方法の開発 食味に優れたカラムナー樹形品種の育成
		准教授 横尾 正樹	受精卵移植を活用した効率的な家畜生産技術の構築と実用化のための研究開発 受精卵体外培養技術に関する工農融合研究
リビエ	リビエ	教授 増本 隆夫	広域水文情報を組み込んだAI利用の圃場水管理技術の開発 流域水利用と氾濫を一体化したシームレス解析モデルの開発と低平地排水リスク評価
		准教授 近藤 正	農業流域における水環境保全のための水管理方法と水資源管理システムの研究 八郎湖における水利用形態と汚濁負荷の流動特性の解明 水田の水質浄化機能評価
		准教授 永吉 武志	河川の流れと河床変動との相互作用に関する研究 農業水利施設の性能設計と機能保全・管理に関する研究 サンフィッシュ科外来魚類の遊泳特性と魚介類生息場の定量評価に関する研究
		准教授 山本 聡史	小型農業ロボットに関する研究 画像処理を用いた農業機械のスマート化に関する研究 ドローンを用いた果樹園の三次元再構築技術に関する研究
アグリビジネス	アグリビジネス	教授 鶴川 洋樹	農業経営の展開論理と発展方式に関する研究 土地利用型畜産経営の技術構造と経営評価の分析
		教授 荒樋 豊	グリーン・ツーリズムや都市農村交流等の農村活性化に関する研究
		教授 岡田 直樹	農業・農村の持続化に向けた地域体制と政策条件に関する研究 ①主体間の連携によるクラスター体制構築の条件 ②求められる地域戦略組織の特性と政策誘導プロセス
		准教授 酒井 徹	農業環境政策及び食品安全政策に対応した経営・産地対応 有機農産物認証制度導入後の有機農産物市場の展開 有機農業における新規参入の特徴と課題
		准教授 上田 賢悦	水田地帯における農業複合化政策の評価と産地・経営対応に関する研究 農業法人における経営者能力の向上と雇用人材の確保・育成に関する研究 農産物直売所の持続的発展方策の解明
フィールド農学	フィールド農学	教授 西村 洋	水稻栽培様式（移植、直播）の機械化システム評価 スマート農業技術（ロボット、ICT等）の効果的運用方法に関する研究
		准教授 今西 弘幸	キイチゴ自生種の遺伝資源評価 キイチゴ栽培品種の長期安定生産および普及 ニホンナシの培養変異育種ならびにブドウの省力安定生産に関する研究
		准教授 保田謙太郎	水稻の環境保全型栽培技術の研究 雑草の種生態および種内地理的変異の解明
		准教授 渡邊 潤	日本短角種の放牧管理技術に関する研究 高栄養飼料作物の栽培技術に関する研究 耕畜連携による資源循環利用に関する研究

注1) 出願にあたっては志望研究グループの担当教員に問い合わせてください。

注2) 授業科目は原則として秋田キャンパスで開講されます。論文指導は指導教員の所属キャンパスで行います。

講座	研究グループ	氏 名	研 究 テ ー マ
木 質 科 学 講 座	木 質 科 学	教 授 中村 昇	高断熱高気密パネルを用いた在来軸組工法の開発 価格競争力のある燃え止まり型木質耐火部材の開発
		教 授 山内 繁	機能性木質炭化物の合成とキャラクタリゼーション 持続可能エネルギーとしての木質バイオマス利用 木材成分と金属元素の化学的相互作用に関する研究
		教 授 高田 克彦	スギ等の森林資源の遺伝解析 樹木の成長・材質の変動と環境応答 森林資源の効率的な利活用に向けた管理手法の開発
		教 授 栗本 康司	化学加工法を用いた木質資源の有効活用 出土木材など木質文化財の保存処理
		教 授 山内 秀文	木材の本来性質を生かした機能性木質材料開発 機能性木材接着技術の開発 木質材料製造技術の高度化・高効率化
		准教授 渡辺 千明	民家の工法と生活文化 地域資源を活用した安心・安全のまちづくり
		准教授 岡崎 泰男	木造住宅の耐震性能向上 木質構造接合部・木質複合材料の開発 実大材破壊機構解明
		准教授 澁谷 栄	バイオマスの利用技術 森林系及び木質廃棄物の有効活用
		准教授 川井 安生	木材中の水分動態の解明と産業応用 新エネルギーを利用した木材乾燥システムの開発 木材・木質材料と音響
		准教授 足立 幸司	可撓化やバネ化など、木質系新素材の創製 木材・木質材料の材料特性を活かした家具・内装材の開発

注1) 出願にあたっては志望研究グループの担当教員にお問い合わせください。

注2) 授業科目は原則として秋田キャンパスで開講されます。論文指導は指導教員の所属キャンパスで行います。

同封資料

次の各書類が同封してありますので確認してください。

- A票 入学志願票
- B票 受験票
- C票 写真票
- D票 住所票
- E票 入学検定料振込用紙
- F票 志望理由書
- G票 受験票送付用封筒
- H票 出願用封筒
- I票 業績レポート

出願、受験、その他の問い合わせ先

生物資源科学研究科

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム(秋田キャンパス)

TEL 018-872-1535

FAX 018-872-1670

◎ホームページアドレス <https://www.akita-pu.ac.jp/>